



ガボン共和国について

アフリカ大陸の南西部に位置し、
赤道上にあり、ギニア湾に面しています
国土面積：267,667 km²（国土の約80%が森林）
人口：約2226,000人（首都に約80%）
公用語：フランス語（その他、現地語が複数あり）
独立：1960年8月フランスより
ガボン経済：林業・鉱業・農業・輸出入



首都リーブルビルについて



首都に人口が集中し、ガボン人の他に
周辺国からの労働者も多く生活しています
車が多く、歩行者より優先され、危険です
タクシーには、古い日本車が多く使われており
走行距離40万km以上の車も多く
排気ガスが気になります

自然豊かなガボンですが



海が埋め立てられ

開発が進んでいます



旧シュバイツァー病院

アルベルト・シュヴァイツァー

Albert Schweitzer



地方の特徴的な家

地域の山の土砂を原料に作られたレンガ状のブロックを積み重ねて建てられています



家の周りには、果物の木（パパイア・ココナツ・バナナ等）が多くみられます



活動について



公立幼稚園の様子

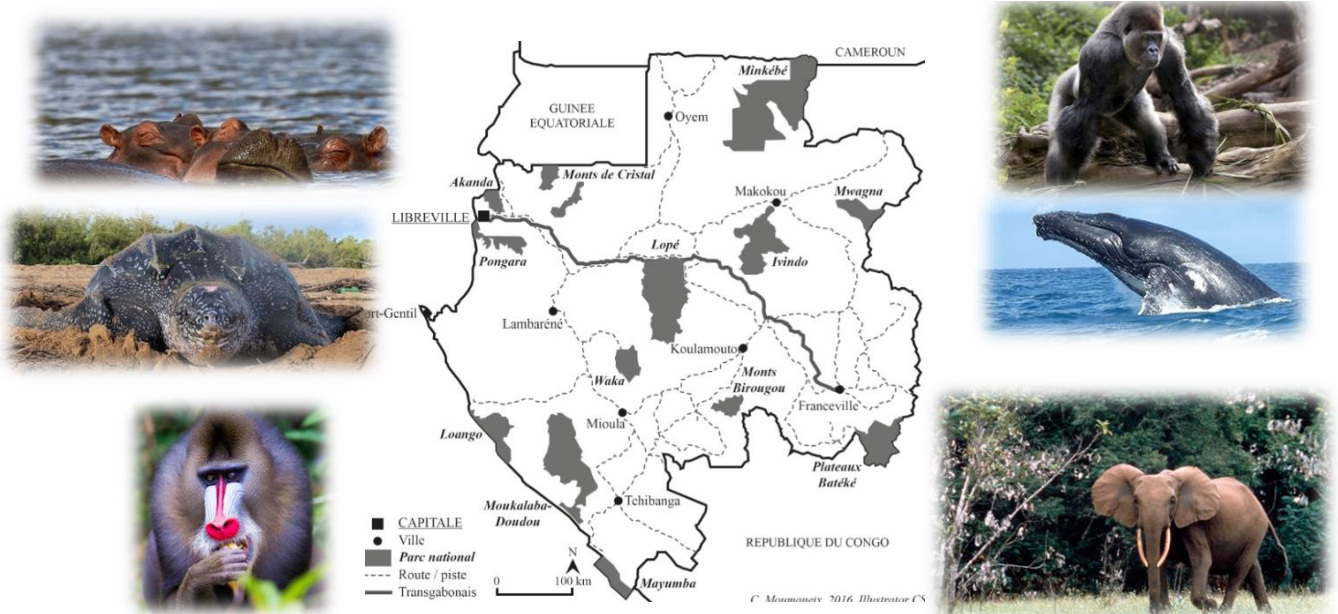


就学前教育局の職員と共に、教育指導官向けの情操教育の普及のための教員研修を開催しました



ガボンの文化を取り入れた教員研修

ガボンの国立公園には、希少な保護野生動物がいますが、実際に見たことのある子どもたちは少ないとのこと。動物や環境について学びながらおもちゃ作りを教員研修に取り入れました。



ガボンの伝統お面文化を取り入れた教員研修

ガボン共和国には、9つの州があり、それぞれの伝統的なお面文化があります。芸術作品としても価値がある為、情操教育に取り入れました。



出典 : Gabon présence des esprits Musée DAPPER



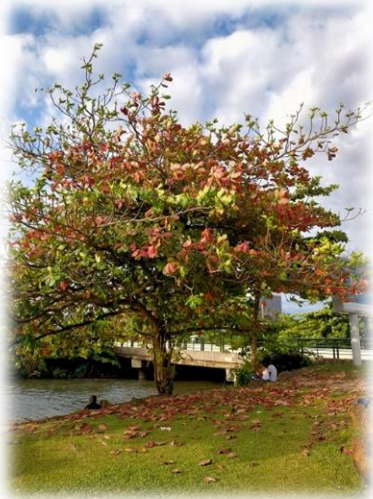
身近にある自然物や日用品を活用した教員研修

ガボンの野菜や果物とアフリカの布などを使ってマリオネットを製作し、情操教育に活用しました。



ガボンの自然素材や布を取り入れた造形活動の研修

自然豊かなガボンの素材を大いに活用しながら、造形遊びを取り入れる研修をしました。特に、中部アフリカ特有の樹木の葉や木の実を活用しました。



自主的な研修会開催を開始しました

研修会の参加者が、自ら研修会を開催し、現場の幼稚園教諭と学び合い、遊びを通じた情操教育の普及につなげています



日本文化の紹介をしました



着付け



お習字



折り紙

市場



伝統的な結婚式



ガボン料理

主食は、タロイモを擦りおろして蒸して発酵させたマニョック。副菜は、パームヤシ油で魚や肉や野菜を煮込んだニャンベ、バナナ料理などシンプル。落花生、マンゴー、パイヤ、ココナッツ、アタンガなど、自然の恵みが安くて美味しいです

